

玲

瓏

第23号

新潟県立新発田商業高等学校同窓会誌

発行所

新潟県立新発田商業高等学校同窓会

〒957-8558 新潟県新発田市板敷521-1

TEL (0254) 26-1388

FAX (0254) 26-8547

題字 井岡博男氏

印刷所 株式会社エンジュ

新発田市佐々木2362-8

TEL (0254) 21-5288



『校門』ついに完成!!

同窓会会長 商工二十回

椎谷和男

この度、同窓会会長を退任された、嶋谷次郎八様の後任として、同窓会会長を務めさせていただくことになりました。椎谷和男でございます。微力ながら、前会長の意志を継ぎ東京同窓会、村上岩船同窓会の皆さまとも協力し合い、「同窓会の絆」を深めながら、母校同窓会の為に尽力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年、玲瓏第二十二号に「校門」の設置を強く要望する声が同窓会に寄せられており、校門を設置するのは、同窓会の大きな使命であると考へ、理事会、幹事会の決議を経て進められたものでした。その後、皆さまのご理解に



より尊いご寄付が寄せられ、事業が推進されました。さまざまな経緯を経て、今年、平成23年3月2日の同窓会入会式後、卒業生の門出を祝いながら、除幕式を執り行う事ができました。

輝かしい歴史と伝統を誇り、幾多の優秀な人材を世に送り出して来た母校、新発田商業高等学校に校門が完成したのです。

校門は大切な学校の象徴であり誇りであると信じています。整備された入口には、商工高校ゆかりの樹齢130年以上の松や、現校舎新築の折に植樹された黒松等立派な樹木が植えられ、日々登下校する生徒さん達を見守り、大いに励みになっていると確信しております。

「校名石設置及び校地入口整備事業」の立ち上げと、実行委員長を務められた嶋谷前同窓会長をはじめ、ご賛同をいただいた同窓会員の皆さま、在校生並びに保護者の皆さま、建設にご協力いただいた業者の方々、そしてこの春転勤された石井校長先生をはじめとする教職員の皆さまのおかげで、事業を推進実施し、実現す

ることができましたことを、心より感謝し、お礼申し上げます。

さて、今年3月11日、日本中、いや世界中を震撼させる大惨事が発生しました。東日本大震災です。あの長い長い揺れの中で感じた恐怖心は、あれから半年が過ぎた今も私達の心に残っています。テレビに写し出される映像に我が目を疑い、言葉をなくしました。4県42市町村の沿岸部が被害を受け、更に追い打ちをかけるように津波は町々を襲い東京電力福島第1原子力発電所を破壊し多量の放射性物質の拡散を招きました。尊いたくさんの命が奪われ、今なお行方不明の方々がおられます。同窓生の方が含まれていないことをお祈りし、亡なられた方々に謹んで哀悼の意をささげ、また被災された方々にはお見舞い申し上げます。1日も早い復興、復旧をお祈り申し上げます。

最後に同窓生の皆さまの母校に暖かいご支援、ご協力をお願いし、皆さま方の更なるご活躍とご健康をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶と感謝の校名石

同窓会副会長 商工三二回

星野 忠 太

最初のご挨拶という事で、この度「ご縁」があつて河栗浩則様(商工二九回卒)とご一緒に同窓会副会長を務めさせて頂いております星野(商工三二回卒)と申します。私が卒業した新発田商工高等学校商業科は、戦後に建てられた歴史のある木造校舎。樺の材料をふんだんに使用した階段や手摺り、今では考えられないような材料の使い方や造り、冬は窓から雪が吹き込むような教室で勉学や部活動に励んでいた頃を懐かしく思いながら今、同窓会の役員をさせて頂いております。

今年には日本の歴史に残るような大惨事である「東日本大震災」が発生致しました。その地震に伴う大津波も発生し、学校・会社・工場に家屋や車、それに人まで一緒に流され何万人もの尊い命が失われました。その為、現在も途方もない人々が避難し不自由な生活を

強いられております。この地震は世界での観測史上、4番目の規模だそうです。また、日本各地での豪雨による洪水や土砂崩れなどで被災され、犠牲になられた方々へ皆様と共にご冥福をお祈りし、お見舞いを申し上げます。今年には日本が試された年、また問われた年ではないでしょうか。この厳しい現実を受け止めて、日本人として人として何が出来るか考え、出来る事で行動に移しましょう。「がんばろう日本」また、明るい話題としてサッカーのなでしこジャパンの優勝、この優勝で元気をもらって頑張っている方々も大勢いらつしやつたのではないのでしょうか。

さて、母校では、以前より進めておりました「校名石建設及び校地入口整備事業」も同窓生の皆様や在校生・OBの先生方、また東京・村上同窓会支部の皆様、その他大勢の方

から多大なるご支援を賜りまして無事完成し、3月2日に除幕式を終えることが出来ました。前同窓会長の嶋谷様(校名石建設及び校地入口整備事業実行委員長も兼務)が校門建設は「同窓会の大きな使命」と話しておられました。校門のない学校なんて見たこと、聞いた事もなかったし、今考えるところ少し早く何とかならなかったのかなと思つた次第です。この「新潟県立新発田商業高等学校」としつかり刻まれた「校名石」を誇りに思いつつ生徒たちが毎日登下校できる事はとても幸せだと思います。この校名石をまだご覧頂いていない皆様は、是非一度機会をみて足を運んで頂ければ幸いです。この同窓会誌をお借り致しまして、ご支援賜りました同窓生の皆様には心より感謝申し上げます。そして今後も多くの同窓生の皆様にご指導・ご協力を頂き、同窓会の輪を大切にしていきたいと思つています。最後になりましたが、同窓会員の今後のご活躍とご健勝を心からお祈りして、ご挨拶とさせて頂きます。



ご挨拶

学校長

小形 賢 治

秋も深まつてまいりましたが、同窓会員の皆様にはますますご清栄のことと存じます。平素より新発田商業高等学校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、また今春の校名石建設及び校地入口整備事業におきましても多大なご協力を賜りました。重ね重ね厚くお礼申し上げます。

さて、私はこの四月より本校の校長として着任いたしました。半年ほど時が経過しましたが、まだ校長として行き届かない面もあろうかと思つますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。新発田村上地域に多くの産業人を輩出した歴史と伝統のある本校に着任できましたことは、私としては誠に得難い経験であり、喜びに堪えません。

おかげさまで本校の教育活動は順調に推移しております。一学期には体育祭を盛大に行うことができましたし、部活動も大活躍でした。運動部では、バレーボール部は全国大会に出場しました。陸上部、女

子バドミントン部、男子ソフトテニス部が北信越大会に出場しました。文化部では、簿記部、コンピュータ部、ワープロ部、珠算部が全国大会に出場しました。夏休みには合宿や遠征が盛んに行われておりました。生徒・教職員の熱意とエネルギーには「さすがは芝商」と敬服しております。

日常生活においても生徒の挨拶やマナーが大変良く、表情がどの生徒も明るいのがとても印象的です。授業中の学習態度も良好で、授業参観においてになる外部の方々からも「素晴らしい」とおほめの言葉をいただいたいております。これもひとえに保護者をはじめ、同窓生の皆様や地域の多くの方々から寄せられる信頼と、ご協力の賜物と思っております。

これからも微力ではありますが、ますます本校が発展していけるように頑張つてまいりたいと思つています。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成22年度新発田商業高等学校同窓会一般会計報告

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

収入

(単位：円)

項 目	22年度予算額	22年度決算額	増 減 額	備 考
繰 越 金	4,576,073	4,576,073	0	うち、同窓会定期預金¥1,014,749
入 会 金	1,015,000	1,015,000	0	平成22年度卒業生(5,000×203名)
雑 収 入	0	5,443	5,443	同窓会名簿売上¥3,800 預金利息¥730 定期預金利息¥913
合 計	5,591,073	5,596,516	5,443	

支出

(単位：円)

項 目	22年度予算額	22年度決算額	増 減 額	備 考
総 務 運 営 費	560,000	604,266	44,266	
役 員・幹 事 会	40,000	34,331	▲5,669	会議費、葉書代
幹 事 総 会	40,000	85,312	45,312	会議費、葉書代
東 京 同 窓 会	180,000	159,130	▲20,870	祝儀代、旅費等
新発田南高校同窓会	20,000	20,000	0	祝儀代
同 窓 会 総 会	100,000	41,317	▲58,683	講演料、葉書代等
同 窓 会 会 報	100,000	69,694	▲30,306	玲瓏第22号(2,000部)印刷代等
卒業証書筒・理事委嘱状	45,000	44,335	▲665	筒208本×@¥203
村上・岩船地区同窓会	30,000	33,680	3,680	祝儀代、交通費
事 務 費	5,000	64,624	59,624	ゴム印、金封等
臨時役員理事会	0	51,843	51,843	会議費
生 徒 指 導 費	220,000	253,000	33,000	
全 国 大 会 激 励 費	150,000	130,000	▲20,000	6 部活動
皆 勤 賞	70,000	123,000	53,000	図書カード(41名×@¥3,000)
学 校 運 営 補 助 費	153,000	259,540	106,540	
松 剪 定 費	53,000	105,000	52,000	剪定費¥52,500×2回
学 校 案 内	100,000	100,000	0	同窓会広告費
国 際 交 流 補 助 費	0	54,540	54,540	額縁等
校 名 石 関 係 費	0	1,021,923	1,021,923	石材費・工事費立替金、葉書代等
予 備 費	4,658,073	0	▲4,658,073	
合 計	5,591,073	2,138,729	▲3,452,344	

収入 支出 残高
5,596,516 - 2,138,729 = 3,457,787 (次年度へ繰り越し)

平成22年度 校名石建設及び校地入口整備事業 特別会計収支報告書

年 月 日	収入	支出	備考
23 4 15	2,871,300		募金総額 13企業、7団体、PTA(計485名)
15		16,470	振込手数料
22 9 28	2,000		立替金入金(大竹賢造)
12 14	※236,700		立替金入金(石井哲彰)
17		2,058,350	校地入口整備費用
23 3 7		700,000	校地入口整備費用・校名石代金
7		※306,700	立替金支払い(石井哲彰)
		2,000	立替金支払い(大竹賢造)
6 25		26,480	口座残高
	3,110,000	3,110,000	

校地入口整備事業及び校名石設置事業に係る費用一覧
参考

内 容	金 額	備 考
校地入口整備費用	2,128,350	若月建設
アスファルト整備費用	189,000	若月建設
校名石代金	1,270,000	比企石材店
事務費	262,923	葉書、トナー代等
振込手数料	16,470	
計	3,866,743	

※石井校長が立て替えた306,700円のうち70,000円は、通帳を通さず直接校地入口整備費用としてあてたため、上記収支一覧には記載しておりません。

全商検定1級合格者

Table listing candidates for the All-Japan Commercial Accounting 1st Grade Exam, categorized by group (A, B, F) and subject (6, 5, 4, 3 types).

高度資格取得状況

Table listing candidates for advanced qualifications, including Applied Information Technology, Basic Information Technology, and IT Passport.

日商簿記2級(47名)

Table listing candidates for the Japanese Accounting 2nd Grade exam, with 47 names listed.

【平成22年度 新発田商業 栄光の軌跡】 全国大会

Main table showing competition results for various sports and academic events, including Skiing, Badminton, Accounting, and珠算 (Abacus).

北信越大会

Table showing competition results for the Hokuriku-Tohoku region, including events like陸上競技 (Track and Field) andバドミントン (Badminton).